



## 内閣府特命担当大臣挨拶

2015年10月20日に行われた食品安全委員会第581回会合に、食品安全担当大臣の河野太郎大臣が出席され、冒頭にご挨拶をいただきました。

### 河野大臣挨拶

河野太郎 内閣府特命担当大臣（消費者及び食品安全担当）



このたび食品安全の担当大臣を命ぜられました河野太郎でございます。

食品安全委員会は、国民の健康を第一に考え、科学的な知見に基づいた的確な評価をしていますと同時に、それを国民の皆様理解していただけるように、ともしれば難しいこととなるべく分かりやすく、コミュニケーションを構築していかなければならないと思っております。

担当大臣として、コミュニケーションの最前線にしっかり立ってまいりたいと思っておりますので、科学的なバックアップを、食品安全委員会の皆様・専門委員の皆様にご覧いただきたいと思います。

## 内閣府副大臣、大臣政務官挨拶

2015年11月10日に行われた食品安全委員会第583回会合に、食品安全担当の松本内閣府副大臣と酒井内閣府大臣政務官が出席され、冒頭にご挨拶をいただきました。

### 松本副大臣挨拶

松本文明 内閣府副大臣（消費者及び食品安全担当）



食品安全担当の副大臣を拝命いたしました松本文明と申します。

食品をめぐるリスクが大きく多様化していく中で、国民一人ひとりがそのリスクを正しく理解しながら食品を選ぶことができる社会をつかっていくために、食品安全委員会がリスク評価機関としてその機能を遺憾なく発揮し、食品の安全性をさらに向上させていただきますことを心から期待しています。

### 酒井大臣政務官挨拶

酒井庸行 内閣府大臣政務官（消費者及び食品安全担当）



食品安全担当の大臣政務官を拝命いたしました酒井庸行と申します。

食品安全委員会委員の皆様には、食品の安全を確保するために大変な御努力をいただいていることを心から感謝申し上げます。

食品安全委員会がこれから海外の関係機関とも連携を深める中で、海外からも認められることを期待しており、先方にご尽力いただきたいと思いますと思っております。



会議資料詳細

第581回 食品安全委員会 <http://www.fsc.go.jp/fsciis/meetingMaterial/show/kai20151020fsc>  
第583回 食品安全委員会 <http://www.fsc.go.jp/fsciis/meetingMaterial/show/kai20151110fsc>

※挨拶は一部を要約・抜粋しています。全文は会合議事録に掲載されています。

## 海外機関との連携を積極的に推進

食品安全委員会は、海外リスク評価機関とさらなる連携強化を目指すため、ASAE（ポルトガル共和国経済食品安全庁）、ANSES（フランス食品環境労働衛生安全庁）、EFSA（欧州食品安全機関）とそれぞれ協力覚書を締結しました。

### ASAE（ポルトガル共和国経済食品安全庁）と協力覚書を締結



▲山添委員長代理（左）とガスパール ASAE 長官（右）

2015年9月17日、食品安全委員会は ASAE と協力覚書を締結しました。これは、2015年3月に開催された日・ポルトガル首脳会談の際に公表された「日本国総理大臣とポルトガル共和国首相による共同コミュニケ」において、今後具体化が期待される分野として「食品安全の分野におけるリスク評価機関間の協力」が位置付けられたことを踏まえたものです。これまでも ASAE とは連携に関する協議を進めてきたところであり、リスク評価を担当する両機関のさらなる連携強化を目指していきます。



## ANSES（フランス食品環境労働衛生安全庁）と協力覚書を締結



▲モルテリユー ANSES 長官（左）と佐藤委員長（右）

2015年10月5日、食品安全委員会は ASAE 同様に連携に関する協議をこれまで進めてきた ANSES と協力覚書を締結しました。ヴァルス・フランス共和国首相の来日に際し、両機関の代表者が協力覚書に署名を行い、安倍内閣総理大臣とヴァルス首相立ち合いの下、協力覚書を交換しました。

本協力覚書では、リスク評価に関する技術的なデータ収集、分析及び共有並びに人材交流、さらにはデータ収集の方法論の分野における見解及び専門的知識の共有について、相互の支援及び協力を行うこととしています。今後、協力の進展を総括するための定期会合の開催、リスク評価の方法・個別の課題についての情報・意見交換等を行い、さらなる連携強化を図っていきます。

## EFSA（欧州食品安全機関）と新たな協力覚書を締結

2015年10月13日～19日にかけて、食品安全委員会の佐藤委員長は東條次長らとともにイタリア・ミラノを訪問し、EFSAがミラノ国際博覧会にあわせて開催した第2回科学会議“Shaping the Future of Food Safety, Together”に出席しました。

この訪問に際して、食品安全委員会は EFSA と新たな協力覚書を締結しました。EFSA とはすでに2009年に、「技術的データ収集、解析及び共有」と「データ収集の方法論に関する見解及び専門的知識の共有」を主な内容とした協力覚書を締結していますが、さらなる連携強化に向けて覚書の内容を改定しての締結の運びとなりました。

今後はデータや情報、知識の収集・解析・共有等に加えて、様々な形態による各機関の専門家の能力構築の強化について、相互支援及び協力を行っていきます。



▲佐藤委員長（左）とウール EFSA 長官（右）

- ASAE（ポルトガル共和国経済食品安全庁）**…… 食品の安全性と経済活動の監視を行うポルトガルの行政機関。経済省の傘下で、食品安全関係では、フードチェーン及び飼料に関するリスク評価とリスクコミュニケーションを所管している。
- ANSES（フランス食品環境労働衛生安全庁）**…… 健康・農業・環境・労働・消費者問題省の傘下で、健康、安全問題を担当する各機構をサポートするために、食品、環境及び職場のリスク評価を行う機関。
- EFSA（欧州食品安全機関）**…… 欧州委員会から独立したリスク評価機関として2002年に設置され、食品の安全性に関して、欧州委員会等に科学的な助言を与える組織。あらゆる食品に関わるリスクを評価の対象としている。



## 全国食品安全連絡会議が開催されました

食品安全委員会では、食品健康影響評価、リスク管理及びリスクコミュニケーションの促進に関して地方公共団体と連携強化を図るため、毎年全国食品安全連絡会議を開催しています。2015年度は10月30日に第1回全国食品安全連絡会議が開催され、全国から30都道府県、49市区の担当者が参加しました。連絡会議では、事務局から食品安全委員会の最近のリスク評価やリスクコミュニケーションの取組を紹介するとともに、学習会が開かれ、山添委員からトランス脂肪酸について、また、堀口委員からリスクコミュニケーションについて講演を行いました。



▲会議の様子